

論文作成法 (2単位)

担当者氏名 全専攻教員

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

本科目では、各専修関連学協会等への論文投稿の準備から完成までのプロセスを通じ、論文作成の基本的能力の修得を到達目標としている。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

地域資源利用工学	農村環境工学	広域環境情報学	地水環境工学
社会基盤工学	水利施設工学	バイオロボティクス	農産加工流通工学

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	論文題目の選定 (第1～第2週)	論文の研究方向に即した研究題目の選定	卒業論文作成において体得した手法等を十分に予習しておくこと。
2	準備 (第3～第4週)	参考文献の選定, 論文の構成	
3	研究の意義 (第5～第6週)	背景, 目的の執筆	
4	研究手法 (第7～第9週)	材料や方法の執筆, 写真や図の作成と選定	
5	研究結果 (第10～第13週)	結果, 考察, 結論の執筆 写真や図の作成と選定	
6	仕上げ (第14～第15週)	読み直し	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

授業初めに担当教員から指示がある。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

授業初めに担当教員から指示がある。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

論文の仕上がりををもって評価する。なお論文の採択は条件としない。

◆オフィスアワー

授業終了後1時間, 研究室で質問等を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項

本科目は、定期的に関講するよりも集中的に行うことで学習効果が向上するものである。また、本科目は関連学協会への論文投稿を前提としているため、履修にあたっては指導教員と十分に相談し、授業計画を決定すること。